

令和五年度 神奈川県立よこはま看護専門学校
一般入学試験 問題用紙 国語

注意事項

- * 指示があるまでは中を見てはいけません。
- * 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- * 問題用紙と解答用紙それぞれに受験番号、氏名を記入してください。

受験番号
氏 名

*文字は丁寧に書くこと。漢字は楷書で書き、略字やなぐり書きの文字は不可とする。
*問題文中から抜き出して答える問題、及び解答に字数制限の指示がある問題については、特に指示がなければ句読点・記号などは一字に数え、指定の字数に含むものとする。

一 次の語句の意味として正しいものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 漁夫の利

- ア 二者が争っているうちに第三者が利益をさらけ取る。
- イ 労せずに利益を得る。
- ウ 二つのものを同時に取ろうとして、結局両方とも得られない。
- エ 思いがけない幸運を得る。

2 目を光らす

- ア 多くの中から価値のあるものを見抜く。
- イ 危ないものと判断して警戒する。
- ウ 美しき、すばらしきに見とれる。
- エ 嚴重に注意、監視する。

3 朱に交われれば赤くなる

- ア 人は付き合う相手によって、良くも悪くもなる。
- イ 気の合う人が自然と集まり仲間となる。
- ウ 似た者が集まり仲間となる。
- エ 周囲に染まらず正しく生きる。

4 出る杭は打たれる

- ア 手応えや効き目が全くない。
- イ 邪魔者扱いされ阻害される。
- ウ 優れた能力がある者が非難される。
- エ 目立つ者は他の人から憎まれる。

5 奇想天外

- ア 物事や現象などが普通と違っていること。
- イ 思いも寄らないほど風変わりなこと。
- ウ 普通の人では考えつかないような変わった思いつき。
- エ 息もたえだえで、今にも死にそうな様子。

二 1～4の文の傍線部と言葉のきまりや意味のうえで同じ用法のものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 祖父のことが案じられる。

ア 春になると運動会が思い出される。

イ 見知らぬ人に話しかけられる。

ウ 先生が帰られる。

エ 空腹なのでいくらでも食べられる。

2 田中さんが絵をかきました。

ア 今日あは晴れているが明日は雨が降るそうだ。

イ 傘が欲しい。

ウ スプーンがありますか使いますか。

エ 山が近くに見える。

3 学校で勉強をしていた。

ア 今日あはレストランで食事をした。

イ ナイフで肉を切る。

ウ 地震で公共交通機関が止まった。

エ 足で缶を踏み潰した。

4 専門家にさえよくわからない。

ア 自分おれさえよければ他人は関係ない。

イ 机やベッドさえない。

ウ 命いのちさえあればよい。

エ 暗くくなり雨あめさえ降りだした。

三 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

コスモスといえば秋にシキサイを添えてくれる花だが、宇宙を指す言葉でもある。どちらも「秩序」^③「調和」を意味するギリシャ語がもとになっている。花のコスモスは、セイゼンと並ぶ花びらの美しさからその名がついたという。

花びらだけでなく野原いちめんにグンセイする様子にも、どこか調和を感じることがある。〈秋桜見てをり吾も揺れてをり〉茂木房子。草花のなか、あるいは木々のなかにおいて、自分がその一部になったかのように思えるのは幸せなシチュエーションである。「A」

宇宙をコスモスと呼んだのは、古代ギリシャの哲学者ピタゴラスだという。この宇宙には秩序があり、調和が取れていると考えたためだ。ちなみに「E」は、カオスすなわち混沌である。「B」

さて人間はコスモスではなくカオスを自然にもたらしめているようだ。最近よく聞く「人新世」という言葉は、人間が自然を大きくつくりかえているさまを表現している。「C」

17世紀の思想家パスカルが人間のことを「考える葦である」と述べたのは、自然のなかで最も「F」植物のような存在だというのがゼンテイになっている。しかし人類が環境ハカイの暴力をふるっている以上、「葦」は身分の詐称かもしれない。「考える」ほうはどうか。「D」

自然からはみ出してしまった人間ではあるが、それでも人間をやめることはできない。調和するにはどうすればいいか、自分に何ができるのか、考え続けるしかない。

(二〇二二年九月二十七日付け『朝日新聞』「天声人語」)

問1 傍線①②の漢字は読みをひらがなで答え、カタカナは漢字に直しなさい。

問2 次の文は本文「A」～「D」までのどの文の後に続くか選びなさい。

「自然界で分解されないプラスチックが生態系を壊し、温室効果ガスが海水面を上昇させる。」

ア A イ B ウ C エ D

問3 「E」に入る語句として適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 上位語 イ 類義語 ウ 同意語 エ 反対語

問4 「F」に入る語句として適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 強い イ 弱い ウ 尊い エ 美しい

四 次の文章は、『毎日新聞』の「社説 新型コロナウイルスの後遺症 実態把握し理解深めたい」(二〇二二年七月六日付け)である。この文章を読んで後の問に答えなさい。

新型コロナウイルス感染症から回復した後も、長期にわたって後遺症に苦しむ人が多い。

国内の入院患者を対象にした厚生労働省研究班の大規模調査で分かった。診断から1年たっても、さまざまな不調を訴える人は3割を超えた。

重症だった人や女性に多く、年代別では中年の感染者で発症する割合が高かった。

症状は、疲労感、呼吸困難、筋力の低下、記憶障害など多様だ。不安や抑うつになる傾向がみられ、睡眠障害が悪化した人や、仕事の能率が下がったと感じる人も目立った。

世界保健機関(WHO)は、後遺症を「新型コロナウイルスに感染後、少なくとも2カ月以上続き、他の病気が原因であるとの説明がつかないもの」と定義している。

検査をしても異常が見つからない患者もいる。発症の仕組みはいまだに「A」されておらず、効果的な治療法も確立していない。

厚生省は、医療者向けの手引を作成した。後遺症に関する各国の情報や患者への対応方法は紹介しているが、治療の多くは対症療法にとどまる。

通常は、時間の経過とともに症状を訴える人は減ると考えられている。しかし、長引く場合は、いつまで続くか分からないという不安がある。公費負担のコロナ治療と違い、後遺症の受診は自己負担となる。

①医療者や周囲の無理解も、患者を苦しめている。

②後遺症と診断されるまで時間がかかることが少なくない。職場で「気のせい」と決めつけられて居づらくなり、退職せざるを得ない例もある。休学や転校を余儀なくされた子どももいる。

③ 自治体によっては、病院や保健所に相談窓口を設置している。患者が孤立することがないよう積極的な情報発信が欠かせない。

④ 年明け以降、爆発的に感染が広がったオミクロン株による後遺症の患者が、今後増える可能性がある。対応できる医療機関の拡充が必要だ。

⑤ 後遺症に苦しむ人への理解を、社会は深めていかねばならない。政府には、実態を把握する調査を続け、適切な支援を講じることが求められる。

問1 「A」にはいる語句として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 解説 イ 釈明 ウ 説明 エ 解明 オ 解説

問2 問題文中の①～⑤の段落で筆者の意見や考えではないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア ①段落 イ ②段落 ウ ③段落 エ ④段落 オ ⑤段落

問3 次の各文の中から、問題文の内容と合わないものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 新型コロナウイルス感染症から回復した後も後遺症に苦しむ人は多く、診断から1年たっても、不調を訴える人は3割を超える。

イ 新型コロナウイルス感染症の主な症状は、疲労感、呼吸困難、筋力の低下、記憶障害など多様で、不安や抑うつになる傾向がみられる。

ウ 後遺症を発症して検査をしても異常が見つからない患者もおり、効果的な治療法も確立していない。治療の多くは対症療法にとどまる。

エ 自治体によっては病院や保健所に相談窓口を設置しているが、患者が孤立することがないように積極的な情報発信が必要である。

オ 医療者や周囲の無理解によって後遺症と判断されるまでに時間がかかることが少なくない。後遺症に苦しむ人への理解を社会は深めていかなければならず、政府には適切な支援を講じることが求められる。

五 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

分けて見る——類型論

自分の性格を表現してみよう。どういった言葉で表すことができるだろうか。

たとえば「やさしい」という言葉はどうだろう。皆さんは、自分が「やさしい人間」だと思うだろうか。

「やさしい人間」と「やさしくない人間」のように、人間をいくつかのグループに分けるような性格の見方を、類型論という。これは、やさしいかやさしくないか、という分け方でなくともよい。「やさしい」「まじめ」「活発」といった分け方でも構わない。とにかく、人々をグループに分ける方法が類型論であり、私たちは普段の生活の中で、この方法を使って頻繁に自分自身や周囲の人々の性格を表している。

占いや心理ゲームなど、「あるカテゴリーに含まれる人物にはこのような特徴がある」という記述を行うときには、基本的にはこの類型論を用いる。血液型による性格判定は人間を4種類に分け、星座は12種類に分け、干支も12種類に分ける。分けることは古くから行われてきた、人間の特徴を把握する方法なのである。【中略】

ただし、世の中のすべての人を身長の高い人と低い人に分けることができないのと同じように、世の中の人々を典型的な「やさしい人」とか典型的な「まじめな人」として完全に分けられるわけではない。もちろん多くの人を思い浮か

べれば、その中には「誰もが認めるやさしい人物」という典型例は存在する。しかし、全員をそのような典型的な例に当てはめようとする、必ず「どちらかと言えばやさしい」といった微妙な人物や、「やさしくてまじめ」といった同時に複数の要素をもつ人物の扱いに困ることになる。

要素を見る——特性論

一方、ひとりの人物の中に混在する「やさしい」「まじめ」「活発」という要素について、それぞれを「低い」「中程度」「高い」といったように程度で表現するのが特性論という性格の見方である。こうした見方をする事によって、ある人はやさしくまじめだけれど活発ではない、別の人はやさしくて活発だけれどまじめではない、といったように、人々が同じ要素をもちつつもある面で違っている、ということ表現できる。

特性論の考え方は、学力テストを想像してみるとわかりやすい。国語、数学、理科、社会、英語という5科目の学力テストを考えてみよう。国語は100点で得意だけれど数学は50点で苦手であるとか、社会と理科は90点で得意だけれど英語は40点で苦手であるとか、どの科目も得意ですべて80点以上であるとか、どの科目も苦手であるとか、各教科の得点をそれぞれ考えることによつて、さまざまな組み合わせを細かく表現できる。

同じように、やさしさ、まじめさ、活発さという性格の要素を100点満点で表してみれば、あるやさしい人はやさしさ90点、まじめさ40点、活発さ80点と表現され、別のやさしい人はやさしさ90点、まじめさ80点、活発さ30点と表現される。同じやさしい人でも、そのほかの要素を考えることで、ずいぶん違った人物像が浮かび上がってくるのではないだろうか。

このようにひとりの人物の中に混在するひとつひとつの細かい性格を要素とみなす特性論は、人間の特徴を詳細に描くことを可能にする。たとえば5つの性格の要素を用意して、それぞれを5段階で表現できれば、その組み合わせは5の5乗となり、3125通りの人物を描くことができるようになる。このような細かさは、類型論では表現できない。

また、それぞれの性格特性を量で表現することにより、細かな変化を表現することも可能になる。ある性格特性が年齢とともに強まったり弱まったり、何かを経験することで変化したりする様子を表現することもできる。「やさしい」カテゴリの人物が「まじめ」なカテゴリにガラッと変わるのではなく、やさしさが80点から60点に、まじめさが50点から70点に変化すると考えるほうが、現実の変化をよりうまく捉えることができるだろう。

階層構造

加えて、性格特性は階層構造をもっている。

細かい性格特性は寄り集まって大きな性格特性となり、その大きな性格特性は寄り集まってさらに大きな性格特性を構成する。まるで、星が集まって太陽系を作り、太陽系のような星系が集まって銀河を作り、銀河が寄り集まって銀河団を形成するようなイメージである。

より身近なところで言えば、ひとつひとつのテスト問題を集めて「計算問題のセクション」「図形問題のセクション」など、勉強の分野を構成し、その分野が集まって「数学のテスト」「英語のテスト」「国語のテスト」ができ、さらに全体が集まって「学力テスト」となるようなイメージでもよい。

性格特性は、どのレベルで性格を見るかという問題にもかかわる。細かいレベルで性格を見ればいくらかでも細かく見ることができるが、その細かな違いには実際的な生活上の意味はあまりないかもしれない。一方で、あまりに大きなレベルの性格を使うと、人類全体の特徴を少ない数直線でうまく捉えることはできるが、大雑把すぎるかもしれない。

類型論はダメなのか

このように書いてくると、類型論がダメで特性論が性格の捉え方として優れていると考えるかもしれない。しかし、必ずしもそうではない。性格を細かく表現したいときには特性論を用い、全体的にざっくりと表現したいときには類型

論を用いるといったように、時と場合によって使い分けるのがいちばんである。

問題は、私たちが普段使いがちな方法が類型論だという点にある。特性論の考え方は20世紀に入ってから盛んになった比較的新しいものである。それに対して類型論の歴史はとても古く、古代ギリシャ時代や古代の中国にまでさかのぼることができる。そして、先ほど占いの例を挙げたように、類型論は私たちの素朴な考え方に近い。私たちは、特性論のような多くの要素を同時に考える把握方法には、あまり慣れていないのである。したがって、特性論のような表現方法を理解しておいた上で、時と場合によって使い分けることを意識しておくのがよいように思う。

ただし、今の時代を生きている私たちにとって、特性論のような個性の把握方法はそれほど難しいことではない。先ほどの例のように、現代の教育を受けている私たちは各教科の学力試験の結果をそれぞれの得点で表すことに慣れており、ゲームに出てくるキャラクターも攻撃力や防御力などの数値で個性が表現される。ポケモンのキャラクターのように、人間についても複数の数値で表現されるイメージをもつと、わかりやすいのではないだろうか。

辞書を調べる

ゲームのキャラクターであれば、攻撃力や防御力、スピードや生命力などいくつかの特性値でその個性が表現される。攻撃が得意なキャラクターは攻撃力の数値が大きく、すばやく動くことができるキャラクターはスピードの数値が大きい。

では、人間にはいくつの性格特性があるのだろうか。「A」、それはどのような方法で確認されるのだろうか。「B」、人々が性格を表現する言葉を収集し、整理していく方法も考えられる。

これまでに心理学の研究の中で、性格の特性を確認するために行われてきたひとつの方法は、辞書を調べることであった。進化論で知られるダーウィンのいところでもあるフランシス・ゴルトンは、辞書から人間の個性を表す形容詞を抜き出す試みを世界で最初に行った人物である。辞書の中には、その時代に世の中で使われている単語が網羅されている。そこで、その中に掲載されている「人間を形容できる言葉」を抜き出すことで、人間の特性を列挙できると考えたのである。

「C」、辞書に含まれていない未知の特徴も存在するだろう。「D」、「この人って、こんな人だね」と表現するときには、必ず言葉でその内容を説明しなければいけない。そして、多くの人が納得できる人間の特性は、人間を表現する共通の言葉として広まっていく。そこでうまく特徴を表現できない場合には、新たな単語が考え出されたり、本来は別の意味で使われていた言葉が人間の特性を形容するために用いられる。若者言葉はそのひとつの例と言えるであろうし、昔は小説の中で新しい表現が考案されたこともある。そして、その言葉が多くの人に用いられるようになる、やがて辞書に掲載されるようになっていく。このようなことから、辞書を調べることは性格特性を挙げるためのひとつの有効な方法だと言えるのである。

(小塩 真司『性格とは何か』中公新書)

問1 問題文中で使われる「類型論」とはどのようなものか、説明している部分を問題文中から20字以上24字以内で抜き出し、そのはじめと終わりの5字を答えなさい。

問2 傍線①「こうした見方」とはどのような見方か。問題文中から7文字で抜き出しなさい。

問3 次の説明は類型論のものか特性論のものか。類型論であればアを、特性論のものであればイを、どちらでもない場合はウを選びなさい。

- ① 人物の中の細かい性格を要素とみなし、量で表現する。
- ② 歴史が古く、私たちが普段使いがちな方法。
- ③ 占いやゲームなどでも使われ、グループやカテゴリに分ける。
- ④ 性格のとらえ方として優れており、20世紀に入り盛んになった。

- 問4 「A」から「D」にはいる語句として適切なものの組み合わせを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア A たとえば B そして C もちろん D しかし
 - イ A たとえば B もちろん C そして D しかし
 - ウ A そして B しかし C たとえば D もちろん
 - エ A そして B たとえば C もちろん D しかし

問5 本文中で筆者が述べている内容と一致するものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間をいくつかのグループに分けるような性格の見方を、類型論という。分けることは古くから行われてきた人間の特徴を把握する方法である。現在では占いや心理ゲームで主に使われている。
- イ ひとりの人物の中に混在する要素について、それぞれを程度で表現するのが特性論という性格の見方である。特性論の考え方は、学力テストを想像してみるとわかりやすい。人物像は各教科の得点を加算した総合点で浮かび上がってくる。
- ウ 特性論は、人間の特徴を詳細に描くことを可能にする。また、それぞれの性格特性を量で表現することにより、細かな変化を表現することも可能になる。
- エ 性格特性は階層構造をもっている。細かい性格特性は寄り集まって大きな性格特性となり、その大きな性格特性は寄り集まってさらに大きな性格特性を構成する。性格特性は、どのレベルでも同様に捉えることができる。
- オ 特性論のような表現方法を理解しておいた上で性格を細かく表現したいときには特性論を用い、全体的にざっくりと表現したいときには類型論を用いるといったように、時と場合によつて使い分けるのがよい。
- カ 性格特性を確認するために行われてきた手法として、辞書を調べその中に掲載されている「人間を形容できる言葉」を抜き出すというものがある。これにより性格特性を列挙することができるが現在では主流ではない。